

# 岐阜県情報技術研究所 平成19年度整備機器のご紹介

## 自動切削加工機

### 用途・利用方法

機能、意匠確認などの機械部品の試作加工に利用できます。

CADデータから、CAMソフトを介してNCデータを生成し、自動で切削加工をできます。NCデータの持ち込みも可能です。

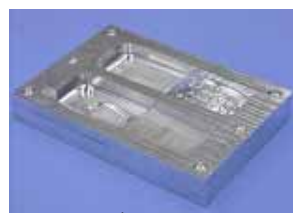
### 性能・構成

- ・ modeling R社 MDX-5000R
- ・ 加工軸: X, Y, Zの3軸 およびA軸
- ・ 動作ストローク:  
500(X) × 350(Y) × 250(Z)mm
- ・ スピンドル回転数: 100-10,000rpm
- ・ 切削可能材料: 樹脂、軽金属
- ・ 繰返し精度: 0.01mm以下
- ・ 制御ソフトウェア:  
CAD(Pro/Engineer)  
CAM(MasterCAM)

### 利用例

- ・ 3Dモデルの意匠検討
- ・ 機械部品の機能検討
- ・ 人にとって使い易い形状の検討
- ・ 治具製作

### 加工例



AIも切削可能



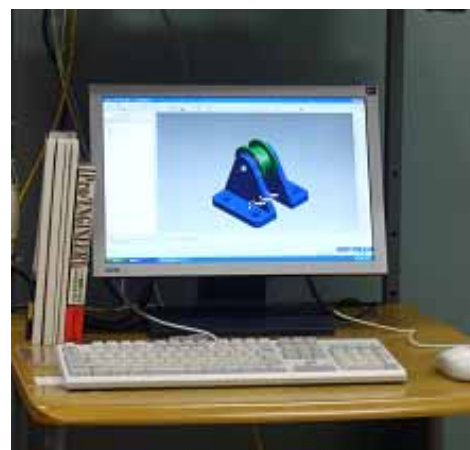
曲面形状も難なく加工



人の手に適した  
ノブ形状の検討



自動切削加工機本体



CAD/CAM搭載パソコン

問い合わせ先: 岐阜県情報技術研究所  
岐阜県各務原市須衛町4-179-19  
TEL:058-379-3300  
E-mail:info@gifu-irtc.go.jp

本設備は日本自転車振興会の  
補助事業によって整備しました。  
<http://ringring.keirin.go.jp>

